



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年3月14日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

④ オンライン授業・・・継続

濃厚接触者や感染不安などで登校できない場合、長期の休校時には一人一台端末を活用したオンライン授業を実施することができます。ご希望される時は、学校にご相談ください。

(問い合わせ) 教育情報化推進課 電話 582-3445

⑤ 児童生徒の心のケアに関すること・・・継続

子どもたちの悩みや不安の解消を図ることを目的に、各学校担当のスクールカウンセラーが子どもたちの相談に応じる体制をつくっています。

⑥ 児童生徒のみなさん、保護者のみなさまへのお願い・・・下線部変更

- 学校へ登校する時には、自宅での健康状態を学校で把握するため、学校から配付されている「健康チェックリスト表」を持参してください。
- こまめな手洗いをを行い、咳やくしゃみが出る場合には咳エチケットを心掛けてください。また、免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心がけてください。
- 風邪症状がある場合には外出を控えてください。また、本人や家族に風邪症状がある時は登校できませんので、学校に連絡してください(欠席にはなりません)。
- 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪い密閉空間」、「人が密集している」、「近距離での会話や発声が行われる」です。日頃から集団感染が発生しやすい場所や場面をさけてください。
- 新型コロナウイルス感染症について、ふざけて冗談や悪口を言ったり、人を傷つける行動をとったりすることは、いじめにつながり、決して許されることではありません。みんなで力を合わせて誰もが安心して過ごせる学校をつくりましょう。

3月7日以降の市立学校の対応について

まん延防止等重点措置延長は3月6日で解除されましたが、3月7日より4月7日まで福岡県は「福岡コロナ警報」を継続し、感染再拡大防止対策期間としています。北九州市立学校の対応については、3月6日までとほとんど変わりありませんが、部活動対応等、一部変更になっていますのでお知らせします。詳しくは、北九州市HPをご覧ください。

(北九州市ホームページトップページ > 暮らしの情報 > 健康・医療・衛生 > 感染症 > 新型コロナウイルス > 学校における新型コロナウイルス感染症への対応について)

① 授業等について・・・継続

- 小・中学校は、授業時間を小学校45分、中学校50分とし、全日の授業とします。
- 特別支援学校は、全日の授業とします。ただし、学部ごとの時間割で実施します。

(問い合わせ) 学校経営・教育指導課 電話 582-2368 特別支援教育課 電話 582-3448

② 部活動について・・・一部変更

- 必要最小限の日数、時間(1時間程度)及び人数に限り活動を認めます。
- 宿泊を伴う活動及び県外での活動は実施しません。
- 練習試合、合同練習は実施しません。
- 中学校体育連盟及び文化連盟等の公式大会については、主催者の感染防止対策に準じて参加を認めます。

(注)上記での活動期間は3月7日から4月7日とします。なお、感染状況によっては対応を変更することがあります。

(問い合わせ) 生徒指導・教育相談課 電話 582-2369

③ 学校行事等・・・継続

- 保護者の来校：感染予防対策に十分留意した上で来校できます。
- 宿泊を要しない行事：感染予防対策に十分留意した上で実施できます。
- 宿泊を要する行事：実施できません。
- 家庭訪問：実施できません(緊急時を除く)。
- 授業参観：学級規模等、学校の実情に応じて、方法を工夫した上で実施できます。

(問い合わせ) 学校経営・教育指導課 電話 582-2368 生徒指導・教育相談課 電話 582-2369

2年生校外学習について

15日は2年生が校外学習に出かけます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策を取りながら行動します。バスの乗降時、施設の見学時には手指消毒や手洗いをを行います。各自が感染防止に努めましょう。(マスクの予備もあればいいと思います)また、食事は黙食になっていますので、会話するときはマスクをしましょう。しよりの注意事項をしっかりと読んで、修学旅行に繋がる校外学習にしましょう。

下関市立しものせき水族館は、山口県下関市唐戸地区あるかぼーとにある水族館です。愛称は海響館(かいきょうかん)です。かつて下関市には長府地区に1956年(昭和31年)11月29日に開館した「下関市立水族館」がありましたが、老朽化が進んできたことから当館を建設・移転することとなり、ウォーターフロント開発の一環として1991年(平成3年)12月には下関市役所内に水族館整備研究会が設置され、1999年(平成11年)2月から当館の本工事が開始されました。

門司港駅(もじこうえき)は、関門トンネルが開通するまで九州の鉄道の玄関口でした。駅舎は重要文化財に指定されており、現役の駅舎で重要文化財指定を受けているのは門司港駅と東京駅(東京都千代田区)丸の内駅舎のみです。「足を延ばして訪れてみたい駅」の全国第1位にランクされています。